

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4	運営推進会議が、年3～4回しか行えておらず、毎年、課題として挙げるが進展が見られません。	おおむね二ヶ月に1回、年6回の開催を目標にします。	偶数月の第4〇曜日の19時からと、定例化をしよう。不参加の場合は会議録を回し、次回会議への参加を促します。	6ヶ月
2	34	救命救急の講習会への参加がここ1～2年進んでいません。	1年に1回は必ず職員各自で救命救急の講習会を受講する機会を作ります。また自ずと救命救急のトレーニングの重要性を認識し、日頃から意識して知識や技術の習得に励むことが出来るようになります。	各区消防署で実施されている講習会の年間スケジュールを掲示し、3ヶ月程度の期間で全員が受講できるようシフト作りも工夫をしていきます。消防署の講習会以外でも日常の会議時等で、ふり返りを行うなど実践で生きる技術の習得を目指します。	6ヶ月
3	10	定期的な家族会の開催ができていません。びろうじゅのケアについてご家族からアンケート方式で意見を聞く機会などをあまりもつことができていません。	年に2回は机を囲んでの家族会を実施し、その他2回は入居者と家族と職員で外出をする機会を家族会として実施していきます。	年間計画の整備を行います。机を囲んでの家族会の開催については、家人からもどのような集まりが理想かあらかじめ意見を出していただき、会を進行していきます。ケアについてのアンケートを実施します。(以前実施したものを内容を見直して)	6ヶ月
4	35	火事を想定した避難訓練は年に2回実施できているが、地震を想定した訓練が実施できていません。	地震避難訓練マニュアルを作成し、普段の避難訓練時に一緒に実施をします。	地震避難訓練マニュアルの作成には、外部専門家の力も借り、実際に活用できるマニュアルを作ります。	6ヶ月
5	49	日々の散歩や買い物も職員数の関係から、一日たくさんの方が外出できる体制になっておらず、そこに地域や組合員の中からボランティアに来てくださる関係作りが進んでいません。	地域の方や組合員の方が、用事がなくても気軽にホームを覗いていただける関係作りに努め、日常のケアへの関わりを増やしていきます。	町会長様のご協力も得ながら、運営推進会議や回覧板、びろうじゅ通信なども活用し、地域へ情報を積極的に発信し、地域連携を深めていきます。	6ヶ月
6	23	入居者各自の普段との変化などは申し送りを行い、職員間で情報共有をできていますが、入居者各自にみられる新たな発見や気づきを共有する仕組みを強化する必要があります。	入居者各自のポジティブな情報を皆で共有する仕組みを作り、普段のケアに活かしていくことで、より個別性の高い、質の高いケアを実践します。	気づきのノートを作成し、コミュニケーション・ケア・レクリエーション等の項目に分け、各入居者に関する新しい発見・気づきを皆で共有していきます。	6ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。